

## 2022 年度目標達成状況報告書（デザイン学部）

\*自己評価は「S・A・B・C」の4段階で「S:十分満たしている、A:満たしている、B:概ね満たしている、C:満たしていない」

No.	評価基準		
1	年度目標	安定的に推移している就職率の検証と、専攻別に相応しい就職先の推進	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
		自己評価	A
No.	評価基準		
2	年度目標	(新しい日常における) 学部の魅力を発信するための広報体制の再構築	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
		自己評価	B
No.	評価基準		
3	年度目標	大学公式メディア、学部公式ブログの活用を推進する	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
		自己評価	B
<p><b>【年度目標達成状況総括】</b></p> <p>2022 年度は新型コロナウイルス感染症拡大傾向からの出口も見え、その後の展開をさらにポジティブに捉えて次代のデザイン学部教育構築に活かせる、ニューノーマルへの「新たな試みの年度」となった。また 2021 年度に減少した学部の受験者数であったが、2022 年度（2023 年度入試）には増加しており、制限のある中での広報活動であっても、学部、学修内容の説明、学部ブログ等を通じて学びの可視化をする事と、整理された数々のコンテンツ発信は、学部の受験者数を左右するという事実がより鮮明となった。依然として大学全体、学部における偏差値の著しい低下は今後を左右する大きな問題であり、数値向上へ向けた施策に着手することと並行しながら、新年度も継続していきたい。</p>			

### 【2022 年度目標の達成状況に関する大学評価】（自己点検評価委員会）

年度目標 3 件は概ね達成されており、自己点検・評価は適正である。オープンキャンパスや様々なメディアを活用し、デザイン学部の特徴あるカリキュラムや魅力を発信するための施策の検討を引き続きお願いしたい。